



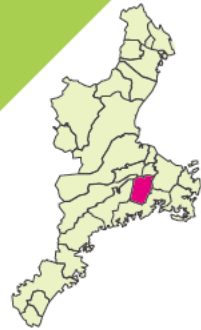
麻ま加か江えかんこ踊おどり

ほ

法螺貝ほらがいかんこ

しゃぐま舞まう

わたらいちょう
度会町



麻加江かんこ踊り

麻加江かんこ踊りは、この一年に亡くなられた人の初盆供養のために、毎年8月15日の夜、度会町麻加江の慶林寺で踊られています。150年ほど前から伝わっており、町の無形文化財に指定されています。馬の毛で作られた「しゃぐま」を頭に被り、こしみのを着け、法螺貝や音頭に合わせ、「かんこ」（太鼓）をたたきながら舞います。【教材「三重の文化」P64】